

岩手県聾啞教育史

岩手盲啞学校の設立

本県の聾啞教育は明治44年、柴内魁三の私立岩手盲啞学校設立から始まった。日露戦争の激戦で両眼を失明した柴内魁三は、宣教師ミス・ウエストや東京盲啞学校長小西信八から励まされ、盲啞教育に身を投じることを決意。明治42年妻子とともに上京し、東京盲啞学校に入学する。翌43年3月教員練習科を卒業した彼は、教員資格を取得とともに帰郷し、盲啞学校設立のために奔走した。そして、明治44年8月1日、盛岡市仁王路に私立岩手盲啞学校を開校。9月1日から盲生の授業を開始した。

盲啞児を対象として学校の設立は、東北で初めてことであった。「盲啞者の機会均等、品位の向上、独立自営、現代教育の欠陥を補って盲啞者の保護・救済」する立場から、教育目的に「普通教育を施し、さらに生活上必要な知識・技能を授ける」ことを掲げ指導にあたったのである。

その後岩手盲啞学校は大正13年6月文部が聾学校に関する通達を出したのを受け、大正14年4月から岩手盲啞学校として岩手聾啞教育の中心的役割を果たしていく。

聾教育の開始

聾生の言語教育は、開校後1年を経過した明治45年4月から、田中貞昌によってはじめられた。田中は、東京盲啞学校教員練習卒業生の小岩井是非雄とともに、盛岡市内の聾生4名を指導。書き取りを教えたほか、身振り動作や手話、筆談による交信技術の取得の重点がおかれた。

口話法の授業は、大正13年10月から開始されている。そして、翌14年1月、文部省主催の聾教育口話講習会に参加した教員が試したところ、その効果が顕著であったことから全面的に採用され、同年4月東京聾啞学校師範部を卒業して赴任した菊池林司によって強力に推進されることとなった。さらに、昭和4年文部省から『国語初歩』第一巻と第二巻が出版されると口話教育は体系化され、急速に普及する。

盲、聾教育の分離

昭和23年4月、政令より、聾教育が義務化されると、岩手県でも条例を制定。盲教育と聾教育が分離され、岩手県立聾学校が誕生した。そして、昭和31年4月には一関市に分室を設置。翌33年には分校となり、昭和36年4月独立して岩手県一関聾学校が設立された。これにともない盛岡の岩手県立聾学校も、岩手県立盛岡聾学校と改称している。

小岩井春泉

岩手聾史研究会代表 石川 俊哉

岩手聾史研究会は今年、9月25日設立をしました。研究会全員は未だ、未熟ですが宜しく願います。

去年の日本聾史学会松本大会に参加し、小岩井是非雄のテーマで講演を見ました。帰った後、しばらくしたら、小岩井是非雄が春泉と言うペンネームで描いた掛け軸、岩手大学で多数保存してあるという情報が入り、慌ただしく確認と撮影などを行いました。掛け軸が多数保存してあることを上映ビデオともに報告したいと思います。



小岩井是非雄（春泉）1894～1981

- 1911年（明治44年）17歳 11月、盛岡高等農林学校教務課にて掛け軸などの製作者として勤務する。
- 1912年（明治45年）18歳 4月、私立岩手盲啞学校啞生普通科嘱託となり、教員として勤務する。
- 1914年（大正3年）20歳 9月、一身上の都合により私立岩手盲啞学校を退職する。
- 1922年（大正11年）28歳 4月、一身上の都合により盛岡高等農林学校を退職する。

小岩井是非雄先生が書いた文の一部（「しばない」第五号（1965.9.5）創立40周年記念同窓会）

・・・9月18日早朝盛岡駅発の上り列車で帰郷の途に就く。その節須藤氏が夜分に拘からずお見送り頂き、本当に有難く思った。途中花巻市の有名な詩人宮沢賢治氏の墓参をすべきことを失念してしまった。

（旧盛岡高等農学校で宮沢氏と知り合った。）・・・

参考資料・写真

「しばない」第五号（1965.9.5）創立40周年記念同窓会

岩手県ろうあ協会50周年記念誌「もとに歩む」

「小岩井是非雄」長野県松本ろう学校同窓会創立60周年記念小岩井是非雄先生の追想集

まんが岩手人物シリーズ「宮沢賢治」

小学館版学習まんが人物館「宮沢賢治」

国語大辞典（新装版）◎小学館

『広辞苑 第五版』CD-ROM版

岩手県立盛岡聾学校の沿革（一部）

明治45年4月1日「手話法による聾啞教育開始」

大正13年10月13日「口話法による聾啞教育開始」

小岩井是非雄と宮沢賢治



提供 毎日新聞社



宮沢賢治 1896～1933

卒業当時の賢治

- 1915年（大正4年）19歳 4月、盛岡高等農林学校に首席で入学し、寄宿生活となる。
- 1916年（大正5年）20歳 特待生に選ばれ、級長となる。
- 1917年（大正6年）21歳 同級生と稗貫郡の地質調査を行う。
- 1918年（大正7年）22歳 3月、盛岡高等農林学校を優等で卒業し、同校の研究生として残る。
- 1919年（大正8年）23歳 3月、妹トシの全快により共に帰郷、家業を手伝う。
- 1920年（大正9年）24歳 5月、盛岡高等農林学校研究生（地質学研究科）を修了。

宮沢賢治と言えば・・・

詩人、童話作家。岩手県出身。盛岡高等農学校卒。農業研究家・農業指導者として活躍するかたわら、宗教心と科学精神に裏づけられた独特な詩や童話を創作。死後、谷川徹三らにより世に出されて名声を得た。詩「雨ニモマケズ」は特に有名。詩集に「春と修羅」、童話に「注文の多い料理店」「風の又三郎」「銀河鉄道の夜」など。

関係とは？

小岩井是非雄の在職期間は明治44年～大正11年である。知り合いだったとわかりますがどこで知り合ったか、どのような関係であったかについては資料が乏しく、未だわかっていません。



旧盛岡高等農林学校
(現在 農業教育資料館)



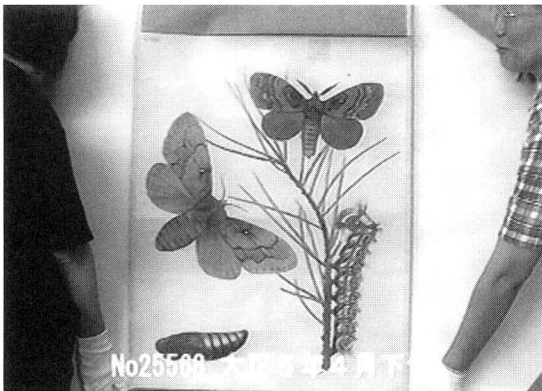
岩手大学農学部



初代校長 柴田 勘三
(元日露戦争参戦者、奮闘)



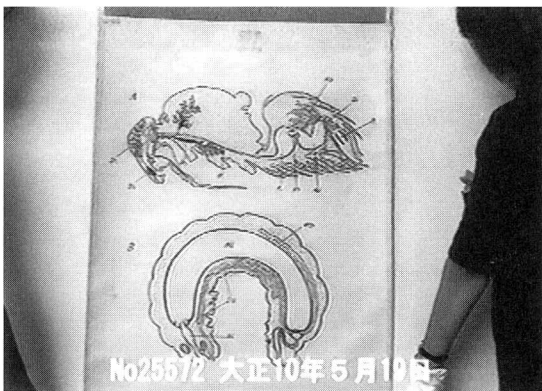
明治44年
私立岩手盲啞学校設立



No25566 大正5年4月下旬



No25567 大正10年5月24日



No25572 大正10年5月10日



特殊動物学 VD21
No25528 神紀2581年5月10日

